

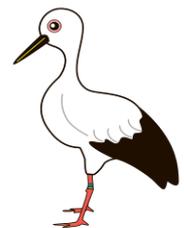
## 「第3回 旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング」 が開催されました

旧吉野川津慈地区河川整備事業地のよりよい湿地環境の創出並びに利活用や管理運営の具体化を目的として、徳島県コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会の規約第7条に基づき「旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング」を令和6年1月31日に設置しています。

第3回目となる今回は、ワーキングメンバーの皆さまと津慈地区自然再生事業地で実施されている試験施工地の現地視察を実施したのち、意見交換を実施しました。



- 1.開催日時：令和8年1月19日（火）14：00～16：10
- 2.参加者：学識者、環境等の有識者、鳴門市、藍住町
- 3.開催場所：自然再生箇所（津慈地区）、板東南ふれあいセンター
- 4.内 容：（1）津慈地区湿地整備の概要について  
（2）試験湿地(浅)におけるモニタリング調査結果について  
（3）自然再生整備地（津慈地区）の利活用について  
（4）生態系ネットワーク形成に向けた短期目標に対する取組の進捗  
及び評価と中期目標に向けた取組の方向性(案)



### ■第3回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキングの主な内容■

試験施工地である浅い湿地については、「島田島での事例にもある、コウノトリの餌生物となる水棲動物が生息できる、常時水が溜まるような深みのある場所を造ると良い」との意見を踏まえ、本施工に向け対応を検討します。また、整備にあたっては市民参加型のワークショップ等親しみの湧く形を含めて検討し、整備地の利活用に繋げていきます。

さらに、モニタリング実施計画案については、いただいた意見をもとに指標種の追加・変更の再検討をおこなったうえで、湿地を訪れる人からの視点や景観的要素も考慮したモニタリングのあり方について検討を進めます。



ワーキングでの意見交換の様子